

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	市民四季の森バラ・アジサイまつり開催事業				担当部	都市建設部				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	みどり公園課				
	事業期間	平成17年度		～	平成30年度以降		担当係	花と緑推進係			
	総合計画 分野別計画	主目的	6 都市基盤		27 公園・緑地・緑道		1 緑化意識を高めます				
		副目的									
	予算区分	款	8	項	4	目	4	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	市民四季の森のPRを行うとともに、市民への緑化意識の高揚を図る。									
	内容 (手段)	<p>○25年度実施内容 バラとアジサイの開花時期にあわせ6月1日から6月16日までの16日間にわたり実施した。25年度は、織田信長公小牧山城築城450年にあたるため、例年の事業に加えオープニングイベントやステージショーなどの記念事業を開催した。オープニングの6月1日と2日には、オープニングセレモニー、歌手による公開録音、ゆるキャラショー、記念演舞などのほか、市民団体との協働による体験型ブースの出展やフラワーオリエンテーリング・探検ツアー・体験型謎解きイベントなどを開催した。その他にも期間中には、緑化推進協議会によるウォールバスケット教室やチャリティー苗木配布を実施した。</p> <p>【直接経費の内訳】 開催委託料(12,658千円) 謝礼賞品等報償費(180千円) 原材料費(674千円)</p> <p>○26年度実施内容 例年(24年度以前)の事業に加え、第10回の開催を記念し、小学生とその家族を対象にバラの植樹祭を開催する。</p> <p>【直接経費の内訳】 開催委託料(7,640千円) 謝礼賞品等報償費(191千円) 消耗品費(289千円) 原材料費(2,010千円) 工事費(1,711千円) 作業員賃金(163千円) ※うち植樹祭関係(3,000千円)あいち森と緑づくり都市緑化事業交付金活用</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	8,084	8,613	13,512	12,004	
		正職員	従事者数	人	0.40	0.40	0.40	0.40
			人件費	千円	2,104	2,104	2,104	2,104
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	10,188	10,717	15,616	14,108		
対前年比	%			105.1	145.7	90.3		
財源	一般財源	千円	10,188	10,717	15,616	11,108		
	国・県支出金	千円	0	0	0	3,000		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	開催期間	日	目標	16	16	16
実績				16	16	16	
	イベント数	件	目標	27	27	32	28
			実績	27	27	32	
	成果指標名	単位	目標				
			実績				
	来場者数	人	目標	30,000	30,000	35,000	30,000
			実績	30,000	28,000	35,000	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成25年度の事業の達成状況	成果指標である来場者数は目標の35,000人を達成でき、小牧山城築城450年及び施設のPRは充分にできた。また、緑化イベントへの参加も多く緑化意識の高揚を図ることについてもある程度達成できている。	
	事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業目的を緑化意識の高揚を図ることに重点を移していくことが必要である。</li> <li>・さらに市民協働を拡大した開催内容としていくことが必要である。</li> <li>・イベント名称の「バラ・アジサイ」について、魅力を高める必要がある。</li> </ul>	
	事業を縮小・廃止したときの影響	施設のPRや緑化意識の高揚を図る機会、出展市民団体と来園した市民とのふれあいの場が減る。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	来園者の緑化意識の高揚とまつり名の「バラ・アジサイ」の一つであるバラの魅力を高めるべく、市内の小学生とその家族を対象にバラの植樹祭を実施する。
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	来場者も多く、施設のPRや緑化意識の高揚については、一定の成果が上がっていると考えられるため。平成25年度は、小牧山城築城450年記念事業として、限定的に事業規模を拡大したが、平成26年度は、平成24年度以前の規模で実施する計画であるため。	
	27年度以降の改善案	バラ・アジサイまつりを契機に普段から来園してもらえるような魅力を高める公園づくりを検討する。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。